



『インフレ手当』獲得！ 22秋闘での成果

全自交加盟単組の22秋闘妥結が続く中、埼玉地連 ツルヤ交通労組から物価上昇への支援として、全乗務員 30,000 円支給 いわゆるインフレ手当を勝ち取ったとの報告が入った。

全自交は22秋闘方針の冒頭で物価高の影響について課題提起しており、また、23春闘においてもインフレ手当獲得を方針案としているが、それを先行する形でのツルヤ労組の奮闘は、全国の仲間を勇気づけるものだ。

また、年末一時金や季節手当の獲得を交渉の結果、勝ち取った単組もある。

加えて、新型コロナ感染予防対策や脳ドック検査費用補助の拡充、女子ロッカー室の改修、制服支給等の福利厚生についても精力的な交渉の末の結果があり、これまでコロナを理由に我慢を強いられてきた組合員に、可能な限り報いる為の交渉を続けた22秋闘だったと言え、正しく、23春闘につながる秋闘だ。

全国には、まだ秋闘継続中の仲間もいる。

全自交は一丸となって組合員の雇用と生活を守るための闘いを最後まで続けていく。

※別紙、22秋闘妥結状況(12月19日時点)を参照下さい。